

N O	教科	科目名	単位数	必修・選択の別
101	国語	現代の国語	2	必修
開講年次	選択群	系列	使用教科書・教材	
1	なし	なし	大修館書店 新編 現代の国語 改訂版	

目 標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

知識及び技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力、人間性
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元・作品名	学習内容	到達 度 目 標
前 期 コミュニケーションは技術だ〈読む〉 ことばの準備体操〈話す・聞く〉 実用文を読もう〈読む〉 水の東西〈読む〉 本のPOPを作ろう〈書く〉 ことばを選んで話そう〈話す・聞く〉	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションに対する筆者の考えを読み取る。 ・早口言葉 自己紹介 傾聴 ・書写 音読 ・実用的な文章を、自分の目的に応じて読む。 ・対比の関係に注目し、筆者の主張を読み取る。 ・本を選び、表現を工夫してPOPを作る。 ・場面や目的に応じて適切な言葉を選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の内容や構成、展開などを的確に捉え、書き手の意図を解釈して自分の考えを深めることができる。 ・筆者の主張を踏まえ、コミュニケーションに前向きに取り組むことができる。 ・発音や速さ、間、強弱を工夫して音読できる。 ・適切な聞く姿勢をとることができる。 ・読み手にとってわかりやすい字形を考えて書写できる。 ・文章の種類を踏まえて、内容を的確にとらえることができる。 ・必要な情報を読み取ることができる。 ・具体例の働きを理解し、書き手の主張を読み取り、自分の考えを深めることができる。 ・POPの表現方法について知り、伝えたいことを明確にして、効果的な紹介文を書くことができる。 ・本の魅力を伝える活動に、意欲的に取り組むことができる。 ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色を理解して、表現の仕方を工夫することができる。
後 期 情報の力関係〈読む〉 対話のレッスン〈話す・聞く〉 絵や写真を説明しよう〈書く〉 魅力的な企画書を書こう〈書く〉 プレゼンテーションをしよう〈話す・聞く〉 自分の考えを作るために〈読む〉	<ul style="list-style-type: none"> ・文字・図形・絵などの効果について考える。 ・相手に配慮した表現を心がけながら対話をする。 ・絵や写真などの情報を説明する文章を書く ・見やすくわかりやすい企画書を書く。 ・様々な資料を活用しながら発表する。 ・具体例の役割に注意しながら、筆者の主張を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視点や立場によってももの見方は異なることを理解し、情報を吟味することについて考えを深めることができる。 ・話し言葉の特色を踏まえ、相手や場面に配慮した言葉遣いや表現の仕方を工夫できる。 ・わかりやすく説明するために適切な語句を選んだり比喩や例示を選んだりできる。 ・目的や意図に応じて適切な題材を決め、相手を意識しながら情報を選択してわかりやすく表現できる。 ・わかりやすい発表資料を作成し、機器を効果的に使用して、表現を工夫して発表できる。 ・意欲的にプレゼンテーションに取り組むことができる。 ・文章の構成に着目しながら筆者の主張をとらえ、自分の考えを深めることができる。

取得可能な検定や資格

漢字検定 硬筆書写検定